

株式会社 鈴木

2016年6月期
決算説明資料

August 26, 2016

M I C R O N

&

E L E C T R O N



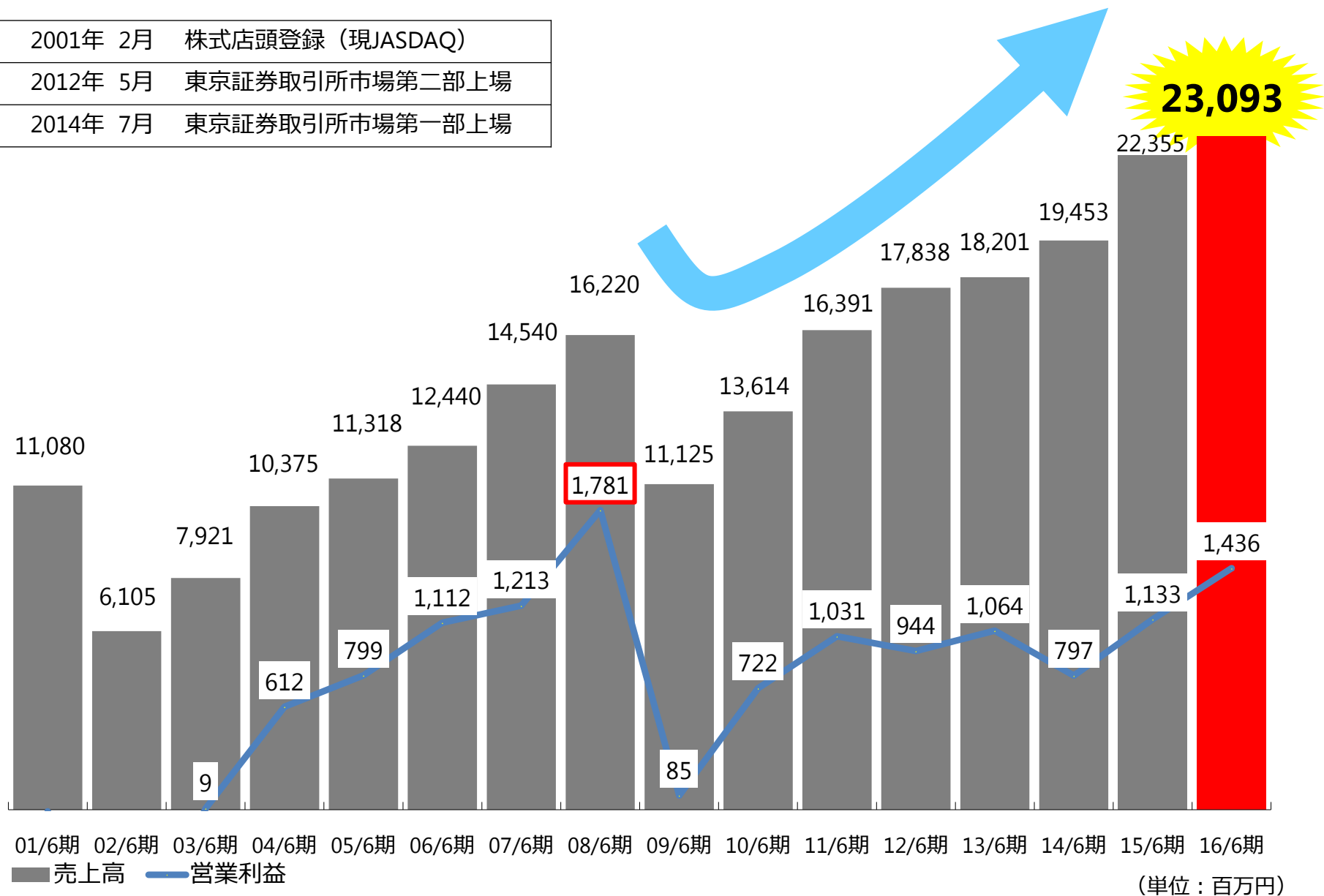
SUZUKI

東証一部 code:6785

SUZUKI CO.,LTD.

2016年6月期 業績説明

2001年 2月	株式店頭登録（現JASDAQ）
2012年 5月	東京証券取引所市場第二部上場
2014年 7月	東京証券取引所市場第一部上場



- 電子部品コネクタはスマートフォン向けの需要が拡大
自動車電装向け部品は引き続き堅調
各種自動機、医療器具は堅調に推移
中国子会社は新製品の立上げが遅れて黒字に至らず
- 結果、2016年6月期は売上増収、営業利益増
為替差損、海外子会社の特別損失計上により経常利益および当期純利益は減益

百万円	2015/6期		2016/6期		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	22,355	100.0	23,093	100.0	738	+3.3
売上総利益	2,694	12.0	3,032	13.1	338	+12.5
営業利益	1,133	5.0	1,436	6.2	303	+26.7
経常利益	1,376	6.1	1,264	5.5	△112	△8.1
当期純利益	584	2.6	165	0.7	△419	△71.7

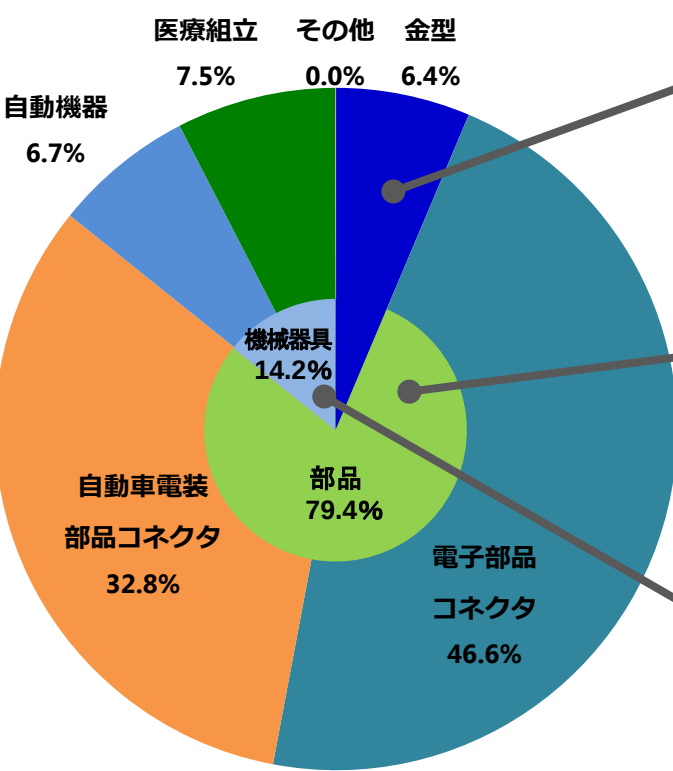
セグメント別売上高 計画と実績

百万円	2016/6期 (通期計画)		2016/6期 実績		計画比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	1,512	6.6	1,469	6.4	△43	△2.8
■ 部品	18,335	79.9	18,335	79.4	－	－
■ 電子部品コネクタ	10,876	47.4	10,761	46.6	△115	△1.1
■ 自動車電装部品コネクタ	7,458	32.5	7,574	32.8	116	+1.6
■ 機械器具	3,077	13.4	3,277	14.2	200	+6.5
■ その他	8	0.0	11	0.0	3	+37.5
合計	22,934	100.0	23,093	100.0	159	+0.7

セグメント別売上高 前期比較

百万円	2015/6期	実績	2016/6期		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	1,559	7.0	1,469	6.4	△90	△5.8
■ 部品	17,581	78.6	18,335	79.4	754	+4.3
■ 電子部品コネクタ	10,144	45.4	10,761	46.6	617	+6.1
■ 自動車電装部品コネクタ	7,437	33.3	7,574	32.8	137	+1.8
■ 機械器具	3,204	14.3	3,277	14.2	73	+2.3
■ その他	10	0.0	11	0.0	1	+10.0
合計	22,355	100.0	23,093	100.0	738	+3.3

16/6期 セグメント別売上高構成



【金型】

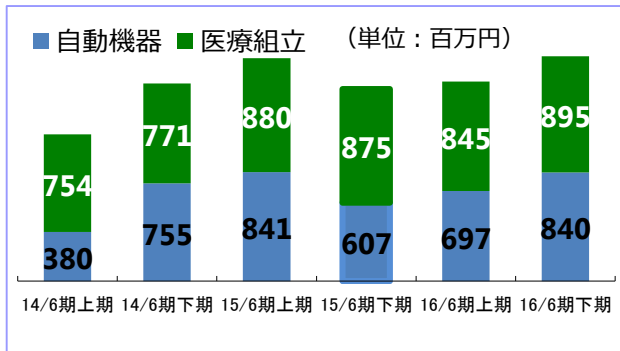
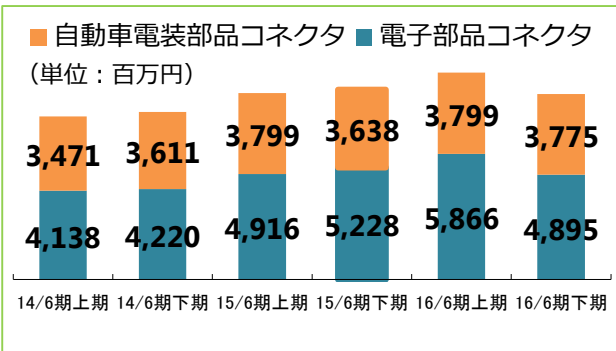
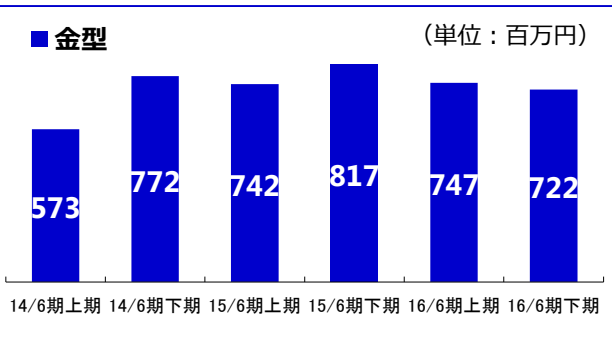
- 電子機器向け金型は新製品向け等が増加、自動車向け金型は高効率金型等の影響により減少
- 結果、売上高は1,469百万円となり、前期比マイナス5.8%の減収

【部品】

- 電子部品コネクタ：スマートフォンの新製品向け等の量産立上げにより好調に推移
- 自動車電装部品コネクタ：北米向けを中心に堅調に推移
- 結果、売上高は18,335百万円となり、前期比プラス4.3%の増収

【機械器具】

- 自動機器：ワイヤーハーネス関連装置が堅調に推移
- 医療組立：主力製品が計画に沿って堅調に推移
- 結果、売上高は3,277百万円となり、前期比プラス2.3%の増収



連結貸借対照表

単位：百万円	15/6期 期末	16/6期 期末	増減額
流動資産	8,065	8,342	277
現金及び預金	1,236	1,415	179
受取手形及び売掛金	4,434	4,592	158
たな卸資産	1,954	2,000	46
固定資産	10,850	9,908	△ 942
有形固定資産	8,841	8,460	△ 381
無形固定資産	54	49	△ 5
投資その他の資産	1,955	1,398	△ 557
資産合計	18,915	18,250	△ 665
流動負債	4,526	4,286	△ 240
支払手形及び買掛金	2,315	2,066	△ 249
短期借入金+ 一年内返済予定長期借入金	1,057	1,115	58
未払法人税等	331	360	29
固定負債	1,531	1,678	147
長期借入金	279	396	117
純資産	12,857	12,285	△ 572
負債及び純資産合計	18,915	18,250	△ 665

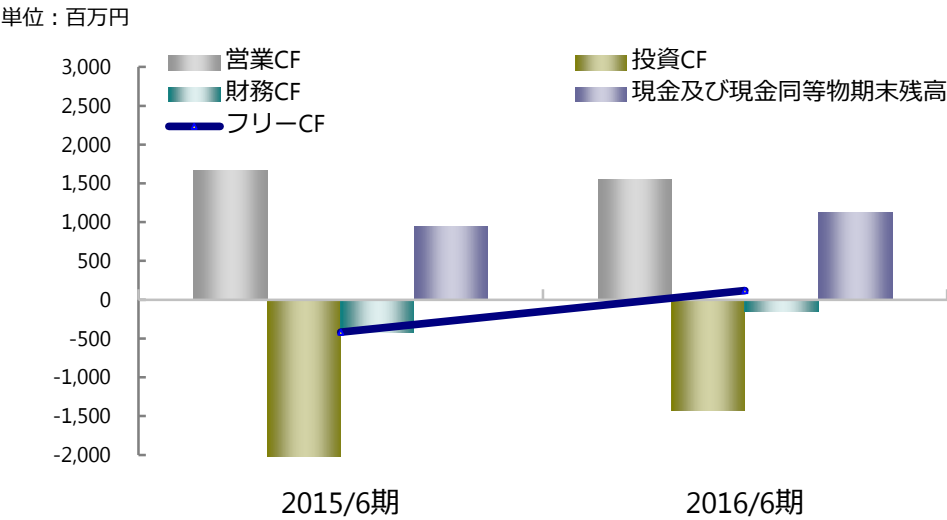
財務体質は
健全な水準を維持

	15/6期末	16/6期末
短期借入金	956	845
一年内返済予定 長期借入金	101	270

有利子負債	15/6期末	16/6期末
	1,337	1,512

	15/6期末	16/6期末
流動比率	178.2%	194.6%
当座比率	125.3%	140.2%
固定比率	88.6%	83.5%
自己資本比率	64.7%	65.0%

連結キャッシュフロー計算書

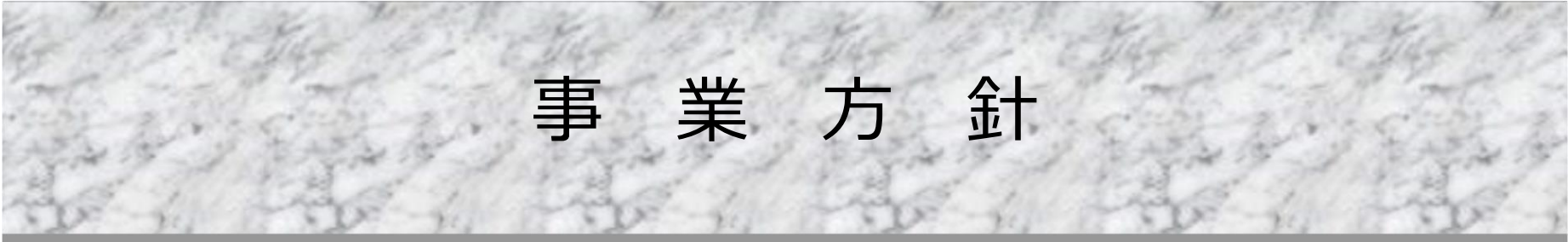


【営業活動によるキャッシュフローの主な項目】	
税 引 前 当 期 純 利 益	916百万円
減 価 償 却 費	1,344百万円
売上債権の増減（増加：△）	△127百万円
たな卸資産の増減（増加：△）	△67百万円
仕入債務の増減（減少：△）	△253百万円

【投資活動によるキャッシュフローの主な項目】	
有形固定資産の取得による支出	△1,251百万円

【財務活動によるキャッシュフローの主な項目】	
短期借入金の純増加額	△59百万円
長期借入金の返済	△214百万円
配当金の支払額	△136百万円
非支配株主への配当金の支払額	△249百万円

単位：百万円	2015/6期	2016/6期
営業活動によるキャッシュフロー	1,661	1,551
投資活動によるキャッシュフロー	△2,141	△1,431
フリーキャッシュフロー	△480	120
財務活動によるキャッシュフロー	△419	△159
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73	156
現金及び現金同等物の増加額	△972	116
現金及び現金同等物の期末残高	948	1,127

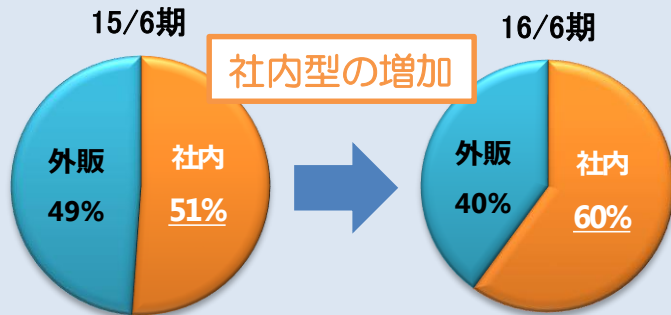
A horizontal rectangular banner with a marbled background pattern in shades of gray and white. The text "事業方針" is centered within this banner.

事業方針

モノ作りNo.1を目指して：金型

全工程で精度を追求し理想の金型を

社内型・外販型比率（金額ベース）

金型構造をシンプルに
（加工ステージ削減）

金型価格の低減

精度を極める
金型部品「ゼロ」精度組立後の調整が
不要な金型
（一発完成）小ロット向け金型
（新たな標準構造）

金型納期短縮

<プレス金型の原価低減>

目標：対前期比 10%削減

取り組み：金型DRにて設計変更、レイアウト変更
不要な機能の切捨てを実施

<モールド金型の原価低減>

目標：対前期比 10%削減

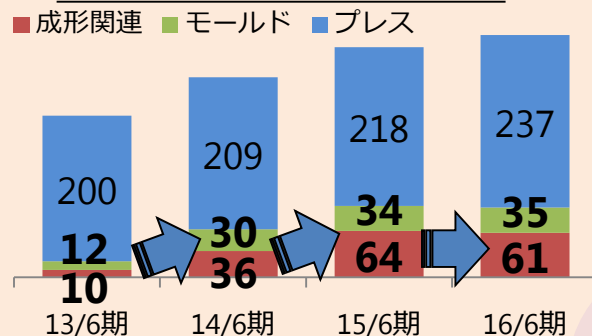
取り組み：パーツ内製化によるコストダウン
内製化率：15/6期15% → 16/6期50% → 17/6期(目標)55%

<小ロット金型の金型制作費削減>

目標：対前期類似型比20%削減

取り組み：小ロット向け金型の標準構造を設定

社内型における台数の推移（単位：台）

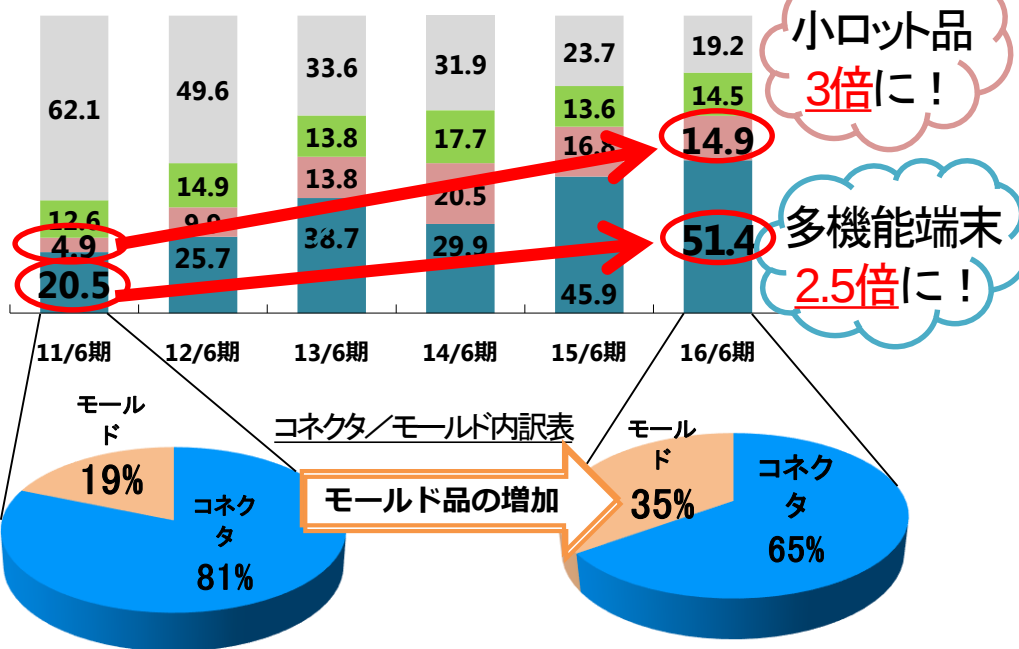
一貫生産向け
金型の需要拡大

モノ作りNo.1を目指して：電子部品コネクタ

独自技術と融合技術の深化

電子部品コネクタ = 用途別の売上比率 (%)

■多機能端末 ■自動車 ■バーインソケット等 ■その他



新規部品事業への取り組み

2020年

2018年

2017年

2016年

試作設備受注、試作評価

量産設備受注および製作

量産設備による試作

量産開始

自動車向け

新規部品事業の構築



重点目標

多機能端末用コネクタの受注拡大
(米国・中国・その他に向けた全方位受注)

小ロット生産への対応

〔自動車用コネクタの拡大
部品向けの小ロット化進行〕

課題

- ・価格競争力の強化
- ・迅速かつ柔軟な納期対応
- ・金型部門を含めた、プレス・モールド・めっきが一体となったの取組み

取り組み事項

プレス

モールド

SPMアップ

成形タクト短縮

材料溶接機の導入
メンテナンス工数の削減
段取替え工数の低減
材料歩留まりの向上

省金化
(目標:対前期比9.5%)

めっき

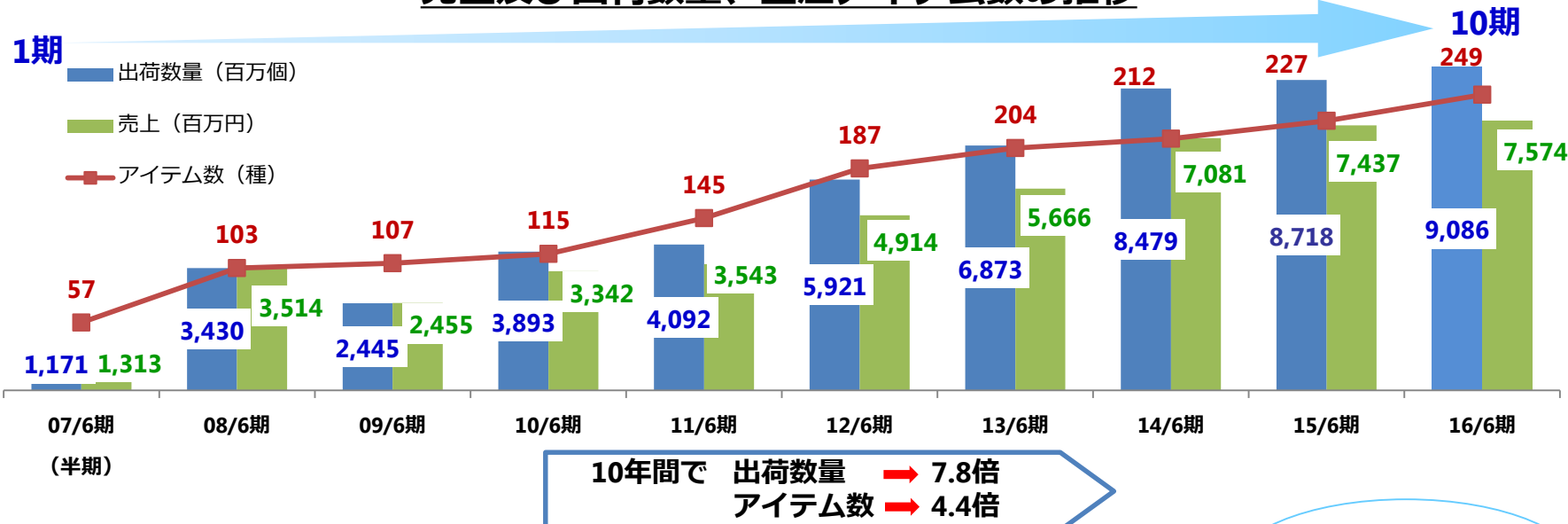
モノ作りNo.1を目指して：自動車電装部品コネクタ

S&Sコンポーネンツ



事業開始より10年 順調な事業展開

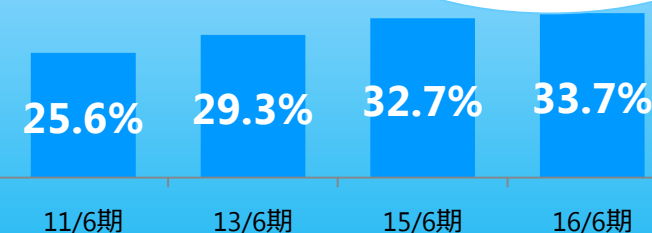
売上及び出荷数量、生産アイテム数の推移



生産効率の向上（2016年6月期実績）

- ≫ 自動化率：10期 81%
- ≫ 2条化率：10期 85%
- ≫ 2ピッチ化率：10期 28%
- ≫ 人の時間当り生産数：前期比6.8%アップ

S&Sの顧客内シェア推移



生産の海外移転が進む中、
金型技術、量産技術を背景に
シェア拡大



ゼロ継続への挑戦

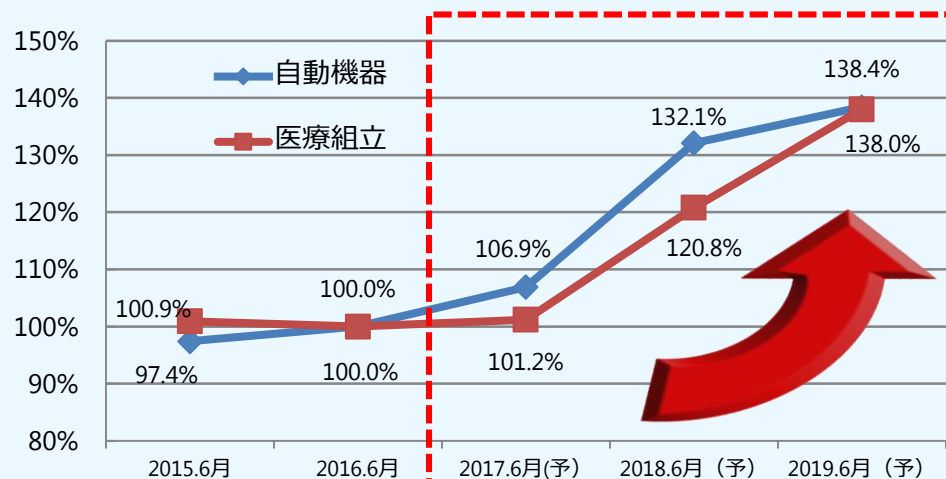
《安全》《品質》《納期》

障害・事故
ゼロ不良品
ゼロ納期遅延
ゼロ

モノ作りNo.1を目指して：機械器具

技術力・提案力を活かし新たな分野にもチャレンジ

自動機器・医療組立 売上予測（16/6期を100%）



売上構成：自動車向け・医療向け機器中心

ハーネスメーカーとの共同開発を深化・拡大

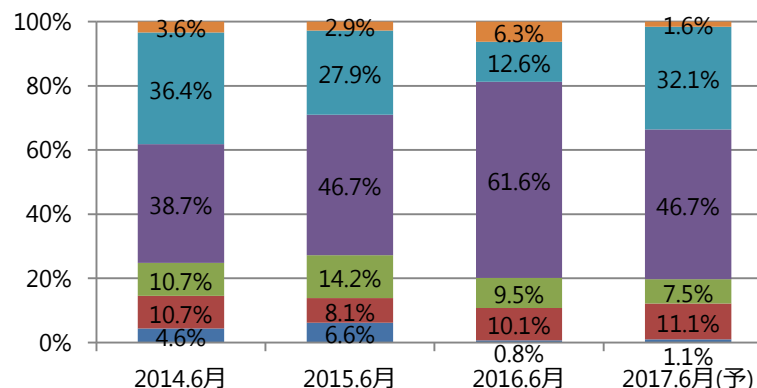
- ハーネス向け合理化機器
- 新材料(アルミ)対応機器
- 高速通信用コネクタ向け機器の開発をスタート

医療組立事業の拡大に向けた機器供給

- 医療事業拡大と合理化

自動機器売上金額率

■ リフロー炉 ■ ディスペンサー ■ フィーダー関連
■ 接圧機 等 ■ 医療機器 等 ■ その他 スペア



医療向け設備の拡大

予定金額：5億円

新規装置の量産化

アルミ防食装置

自動車向け機器の試作

高速通信用コネクタ向け機器

自社ブランド機器の展開



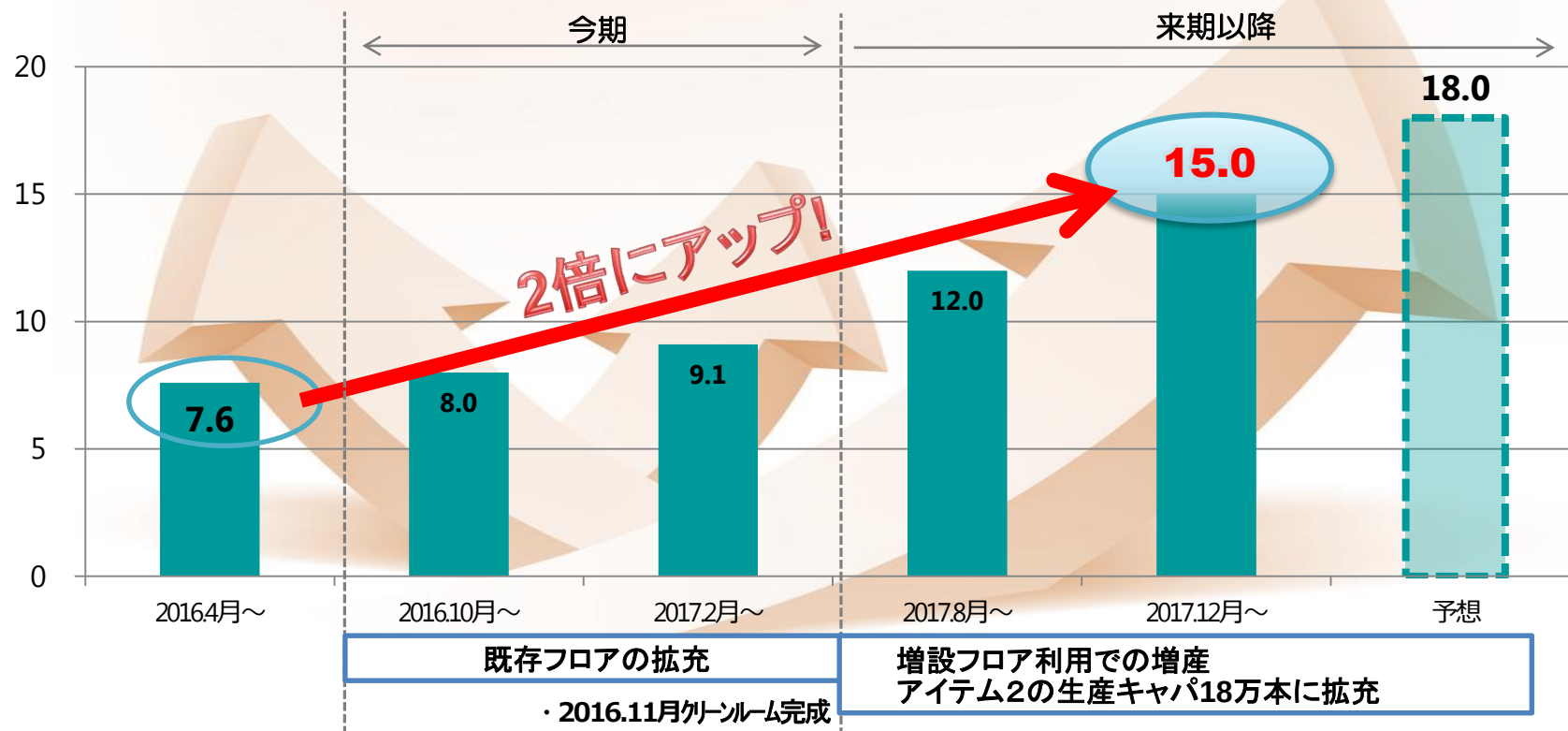
- 今期 3台の受注予定
- デモ機により各客先でサンプル評価中
- 量産試作機的设计・製作進行
- 量産機が下期中に完成

モノ作りNo.1を目指して：機械器具（医療組立）

受注拡大により更なる安定事業に発展

アイテム2の生産増加

アイテム2 生産計画（単位：万本）



Q S R（品質システム規制）体制を2016年12月までに確立

F D A（アメリカ食品医薬品局）が規制するQ S R(品質システム規制)に準拠した体制を構築する。

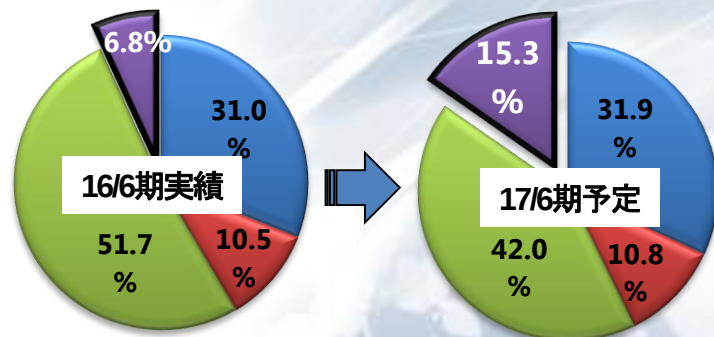
海外事業：中国・インドネシア

赤字の縮小から黒字化へ

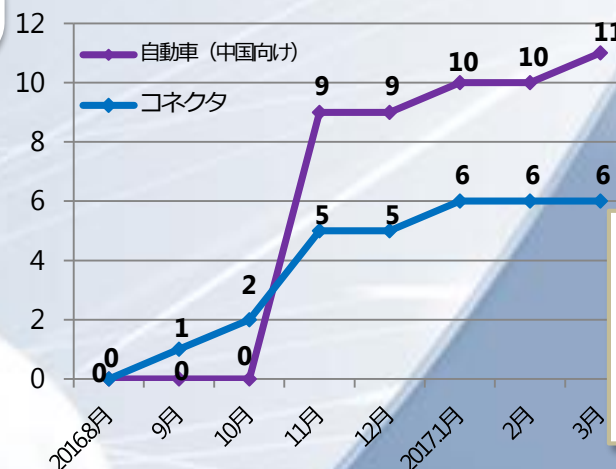
中国（鈴木東新電子）

製品ミックス比較

■コネクタ ■その他電子向け ■自動車（中国向け） ■自動車（日本向け）



2016.8月以降に生産が開始される新規アイテム数

鈴木東新電子
黒字化予測

2016年 1月～ プレス部門黒字化

2016年11月～ 営業利益黒字化

2017年 3月～ 純利益黒字化

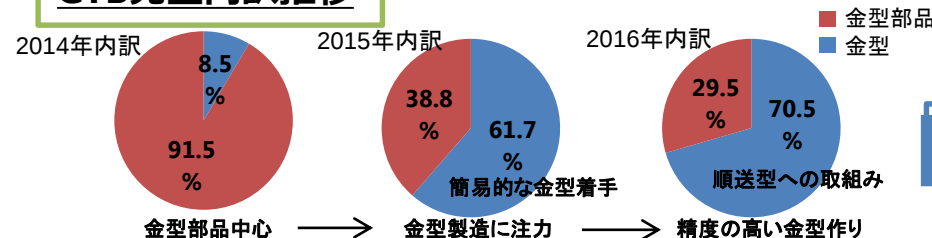
インドネシア（SGI、GTB）

GTB（SGIの現地合併先）の連結子会社化（2016.3月～）

GTBの位置付け：GTBに(株)鈴木の高精度金型技術を注入 →

インドネシアでの高精度金型製造実現
SGIへ高精度金型供給 = 客先からの注目度高い

GTB売上内訳推移



GTB金型力

SGIの部品生産と連携

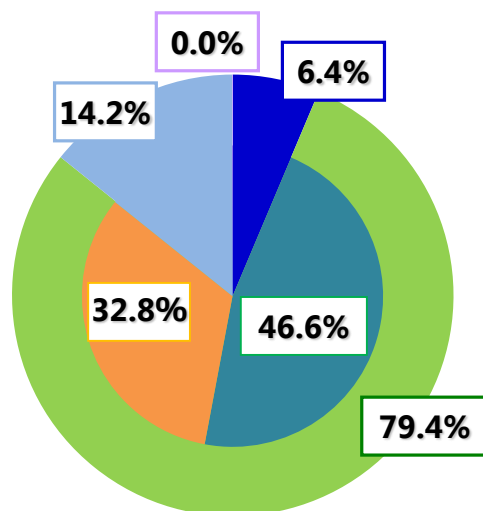
GTB金型力

- ・ 現有顧客での実績作り→リピート
- ・ 新規顧客との商談進行中

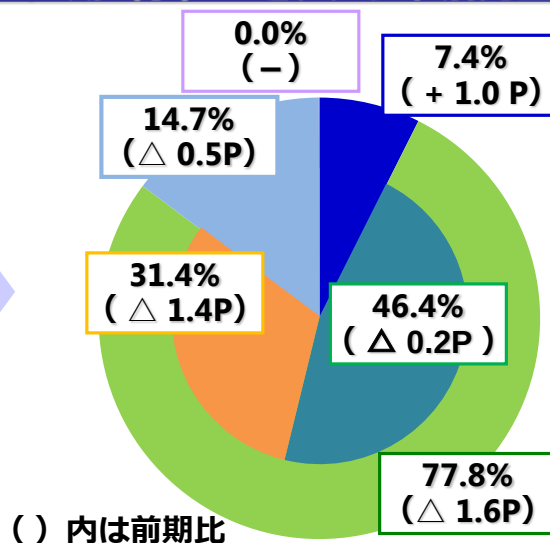
セグメント別売上高

百万円	2016/6期		2017/6期 予想		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	1,469	6.4	1,708	7.4	239	+16.3
■ 部品	18,335	79.4	17,948	77.8	△387	△2.1
■ 電子部品コネクタ	10,761	46.6	10,705	46.4	△56	△0.5
■ 自動車電装部品コネクタ	7,574	32.8	7,243	31.4	△331	△4.4
■ 機械器具	3,277	14.2	3,398	14.7	121	+3.7
■ その他	11	0.0	8	0.0	△3	△27.3
合計	23,093	100.0	23,062	100.0	△31	△0.1

16/6期：セグメント別売上高構成



17/6期（予）：セグメント別売上高構成



今期のPoint

研究開発費
の増額

スマートフォン次機種、
次々機種の動向

2016年6月期

2017年6月期見通し

増減率

売上高

23,093万円

23,062百万円

△0.1 %

営業利益

1,436百万円

890百万円

△38.0%

下段：利益率

6.2%

3.9%

経常利益

1,264百万円

882百万円

△30.2%

下段：利益率

5.5%

3.8%

親会社株主に帰属
する当期純利益

165万円

363百万円

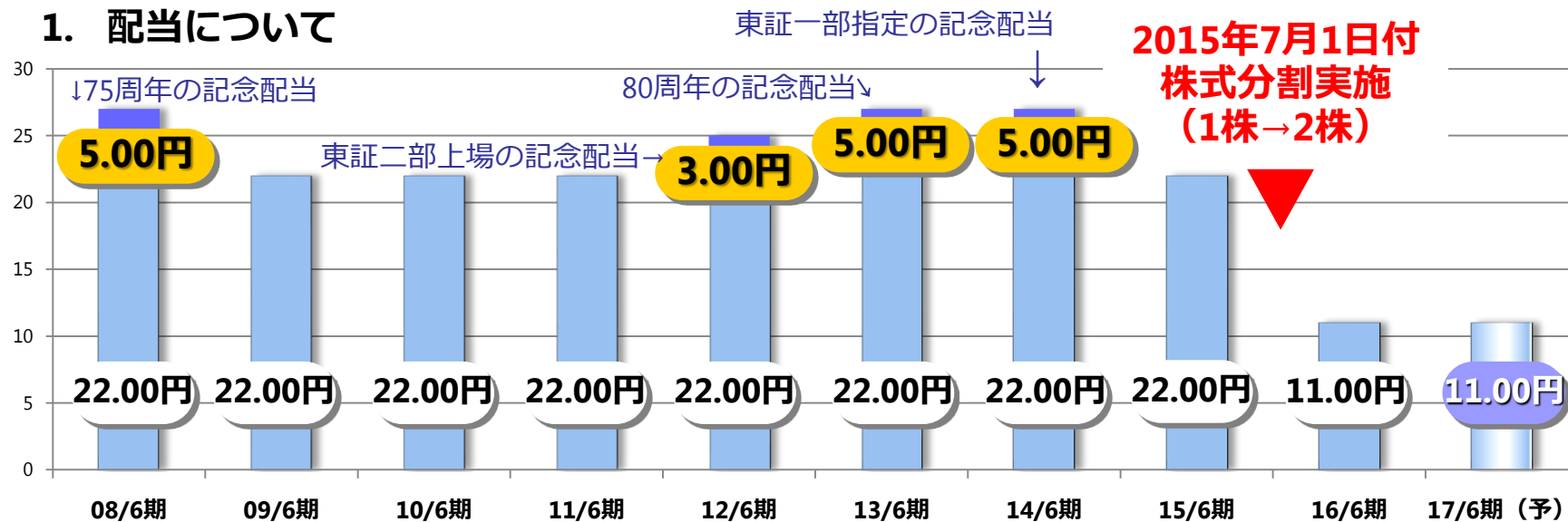
119.6%

下段：利益率

0.7%

1.6%

1. 配当について



2. 株主優待について

◆ 対象となる株主様

毎年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株（1単位）以上を保有する株主様を対象と致します。

◆ 株主優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上1,000株未満	1,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ
1,000株以上	2,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ

Being an “Only-One Company”

本資料は、2016年6月期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2016年6月末時点のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ

ir2006@suzukinet.co.jp

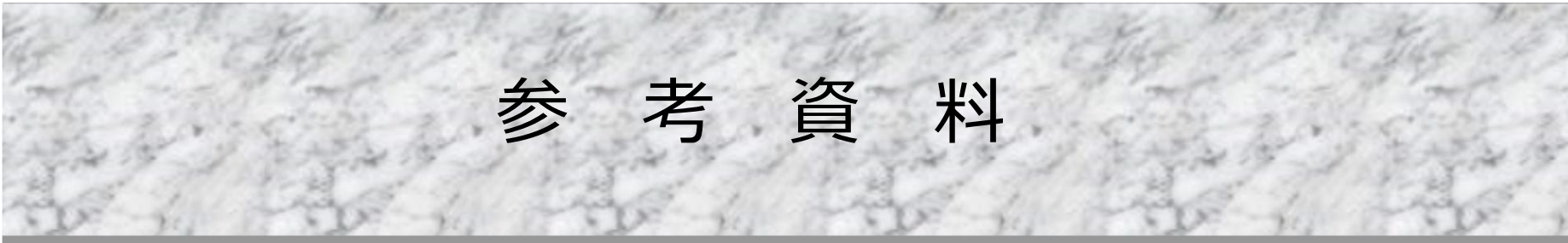


代表取締役社長

取締役 専務執行役員

鈴木 教義

横山 勝登

A horizontal rectangular area with a marbled paper texture, featuring swirling patterns of light gray, beige, and white. The text "參考資料" is centered within this area.

參考資料

経営理念

「不への挑戦」

微細金型技術の徹底的な精度追求 = 不可能への挑戦

商号

株式会社鈴木

英語名：SUZUKI CO., LTD.

設立

1933年6月10日

本社

長野県須坂市大字小河原2150-1

上場

2001年2月16日 JASDAQ

2014年7月31日 東京証券取引所市場第一部

証券コード：6785

代表者

代表取締役社長 鈴木 教義

事業内容

電子部品コネクタ、電子部品搭載装置、半導体関連装置、各種精密プレス金型・モールド金型の製造・販売

資本金

14億3,530万円

発行済株式数

12,390,000株（100株単位）

関連会社

【連結子会社】 国内：S&Sコンポーネンツ株式会社（持株比率：51.0%）、中国広東省：鈴木東新電子（中山）有限公司（持株比率：80.0%）、中国香港：鈴木東新電子（香港）有限公司（持株比率：80.0%）、インドネシア共和国：PT. SUGINDO INTERNATIONAL（持株比率：80.0%）、PT. GLOBAL TEKINDO BERKATAMA（持株比率：30.0%）

従業員

【連結】 779名 【単体】 524名

※ 2016年6月末現在

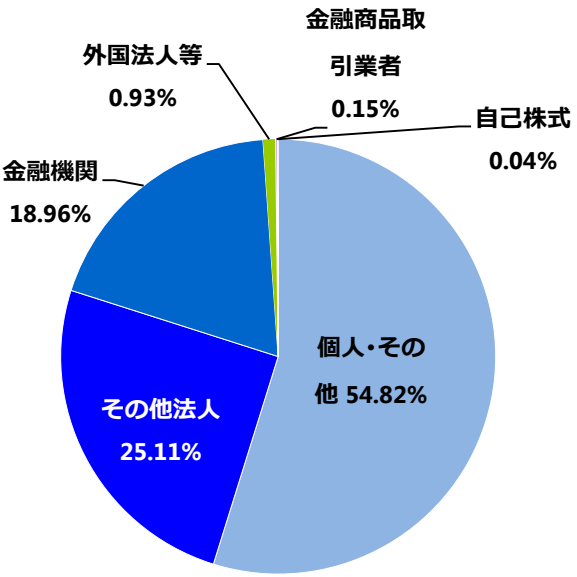
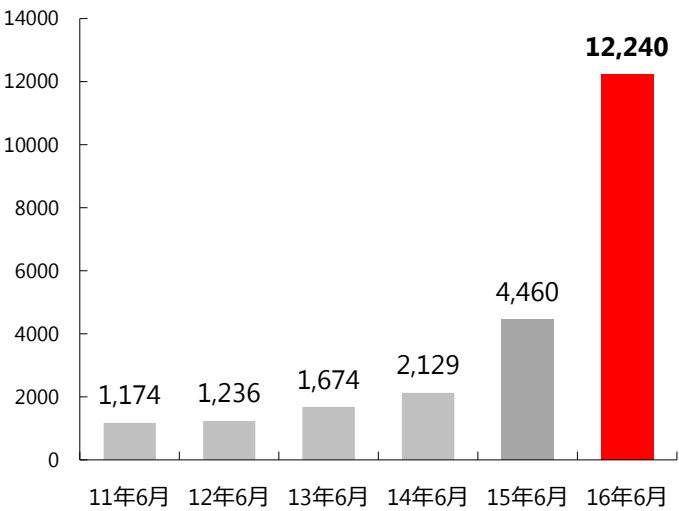
●大株主情報

株主名	持株数（株）	議決権比率（％）
有限会社スズキエンタープライズ	2,438,600	19.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	953,300	7.69
鈴木従業員持株会	786,210	6.34
三井住友信託銀行株式会社（信託口）	363,400	2.93
鈴木 教義	349,440	2.82
株式会社八十二銀行	310,000	2.50
高野 忠和	295,200	2.38
小島 まゆみ	208,000	1.67
草間 秋男	168,840	1.36
鈴木 照子	160,000	1.29

●所有者別株式分布状況

	株主数（名）	株式数（株）	株式数分布比率
個人・その他	12,080	6,792,687	54.82%
その他法人	83	3,110,800	25.11%
金融機関	24	2,349,300	18.96%
外国法人等	36	114,787	0.93%
金融商品取引業者	16	18,058	0.15%
自己株式	1	4,368	0.04%

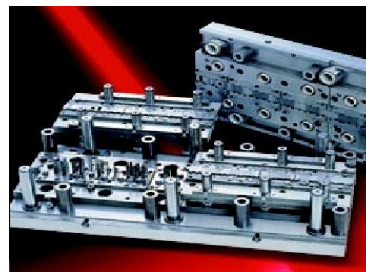
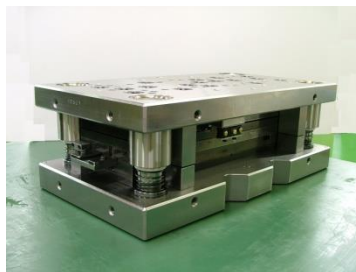
●株主数の推移



金型： ～長年の研鑽による匠の技：当社のコア技術～

業界最高レベルの
精密金型の設計・製造

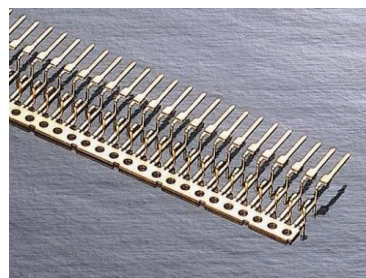
売上構成比：6.4%



部品： ～金型を用いた精密部品の量産加工～

電子部品や自動車
電装部品の量産加工

売上構成比：79.4%



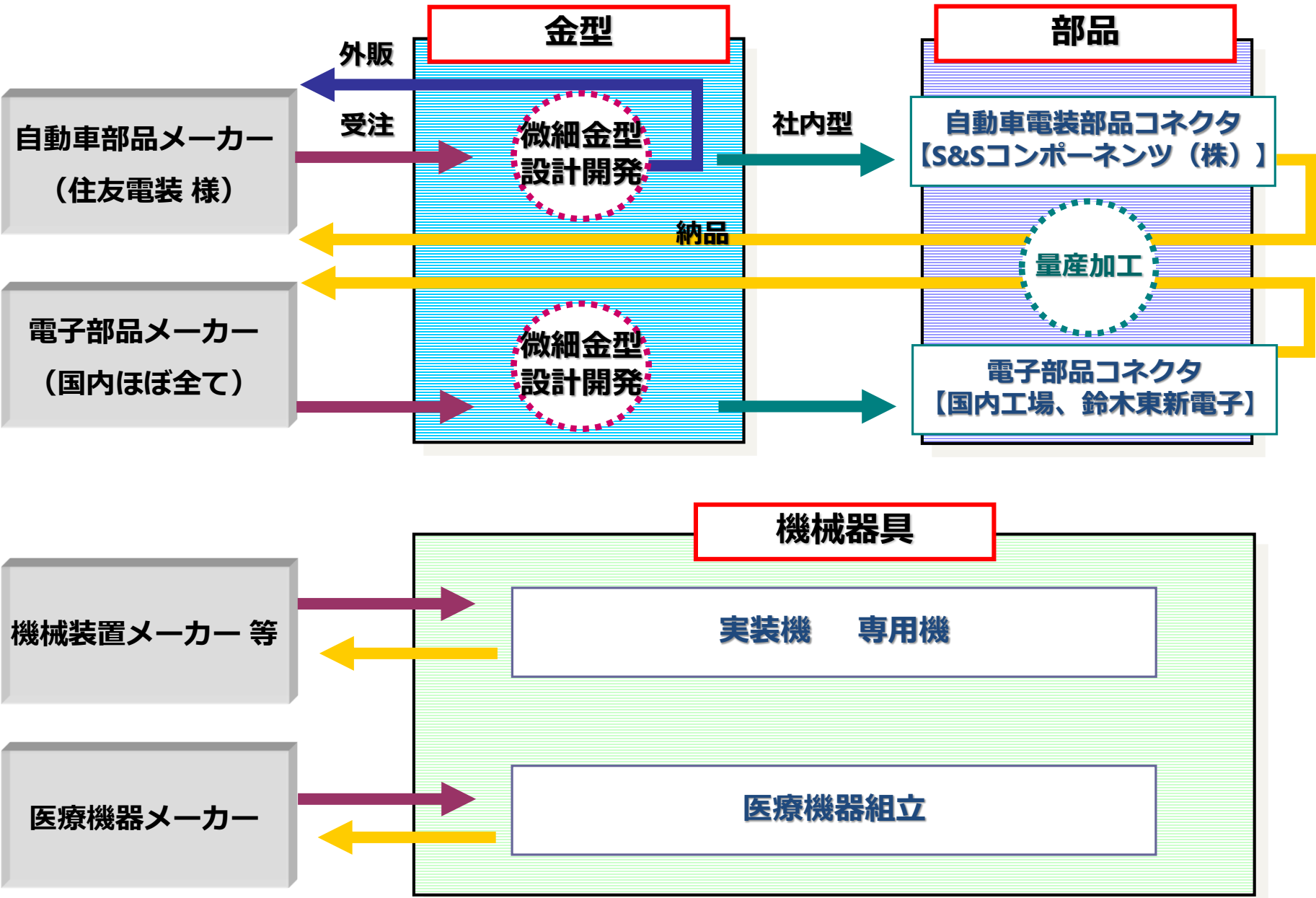
機械器具： ～金型・部品事業で培った技術ノウハウの応用～

実装機や省力化機器の
設計開発
医療関連器具の組立

売上構成比：14.2%

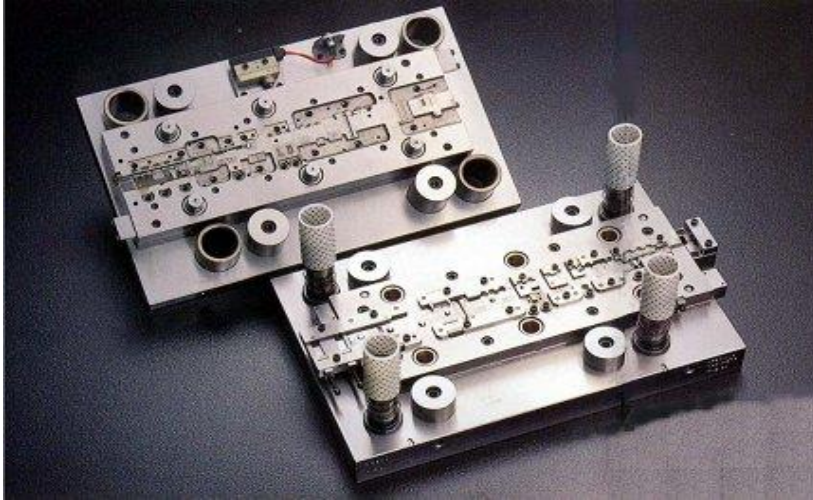


※ 売上構成比：2016/6期の数値



「金型」

展開及び組付け時の金型の外観



「プレス加工」

一般的な加工工程のレイアウト

